



初冬の白神岳

【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

雨降る中、暗門溪谷で第2回森林教室を開催しました

10月23日(土)、暗門溪谷において、西目屋村との共催により、参加者4名で第2回森林教室を開催しました。

数日來の降雨や当日も雨の影響を受け、行程の変更を余儀なくされましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で第1回森林教室は中止となっていましたので、まずは開催できることに感謝です。

開会式後、津軽峠に向かいマザーツリーを見学しました。残念ながら平成30年の台風の影響で、マザーツリーは幹が折れ、昔とは面変わりをしましたが、大樹が折れたことによりできた樹々の隙間、少しずつ朽ちていって土に帰ろうとしている倒れた幹、これらがやがて、森林の新しい命の更新に繋がることを、参加者の皆さんに知っていただくことができました。

午後は、雨に濡れ、溪流が増水して一部水に浸った歩道に注意しながら、暗門溪谷を歩きました。途中、職員が紅葉の仕組みや森林や樹木の持つ様々な機能などについて説明しながら進み、紅葉に包まれた暗門第三の滝、さらに第二の滝に到着すると、参加者の皆さんから、一様に感嘆の声が起こりました。

白神山地はまもなく冬を迎え、当センターの今年度の森林教室も今回で終了となりますが、当センターは来年度も森林教室と自然再生活動をそれぞれ2回計画しております。多くの方のご参加を職員一同お待ちしております。(赤澤)



マザーツリー



暗門第二の滝までの道中

弘前大学の学生が津軽白神森林生態系保全センターを来訪

10月28日(木)、当センターは弘前大学(人文社会科学部)から4人の学生の来訪を受けました。大学の実習のレポート発表のため、森林をテーマに、さまざまな関係者を訪れており、今日はその一環として来訪したとのこと。当センターでは特に自然再



センター業務内容を説明

生事業を中心に、当センターの事業全体について話を聞きたいとのことでした。

まず当センター職員から、白神山地の概要と、それを管轄する当センターの役割について資料を交えて説明しました。それに対し、学生たちからは鋭い質問や私たちが想定していなかったような質問も飛びだし、タジタジさせられる場面もありましたが、学生たちの真剣な質問に私たちもできる限り、一所懸命応えさせていただきました（時々脱線もしましたが。。。）。



弘前大学生からの質疑応答

学生たちの質問はなかなか尽きず、想定していた時間をかなりオーバーしました。しかし、若い学生たちが、森林や生態系に関心を持ち、多くの質問をぶつけてくる、それに対して私たちも自分たちが日常の業務で感じた問題意識や経験を踏まえながら一所懸命に答えていく。こういう時間を共有できたことは、私たちにとってもとても刺激となりました。この日の議論が実習レポートをより実りのあるものとし、

森林や生態系に対するさらなる関心の深まりの一助になったのなら、私たちもとても嬉しく思います。（赤澤）

鱒ヶ沢こども園から感謝状をいただきました

開園70年の歴史を誇る鱒ヶ沢こども園が今年度末で閉園する事になり、令和3年11月6日（土）小春日和の中閉園式が行われました。閉園式の中で、長年こども園がお世話になった個人・団体に対し感謝状が贈呈されました。

津軽白神森林生態系保全センターに対しても、平成22年から11年間10回（昨年度は、新型コロナウイルスの影響で中止）津軽森林管理署と共催で実施している「花いっぱい運動」に対し感謝状の贈呈がありました。

「花いっぱい運動」に対し

「花いっぱい運動」を通じて、子ども達に花植の体験や親子でプランターを作る体験の機会を与えていただいた。

という感謝の言葉がありました。

「花いっぱい運動」は津軽署・当センター職員も子ども達と一緒に花を植えたり会話をすることができたりと楽しみにしている行事でしたが、来年からできなくなるということできみしい限りです。

今後も関係町村の子ども達と「花いっぱい運動」のような活動をしていきたいと思えます。（田中）



鱒ヶ沢こども園からの感謝状